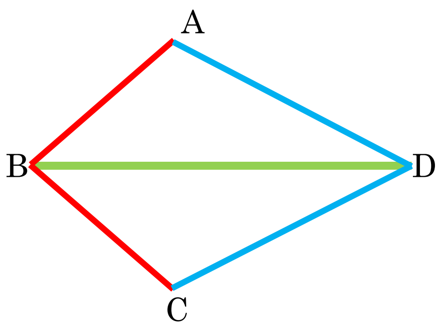
次の図形に、文章で示された内容を記号を使って図示しなさい.

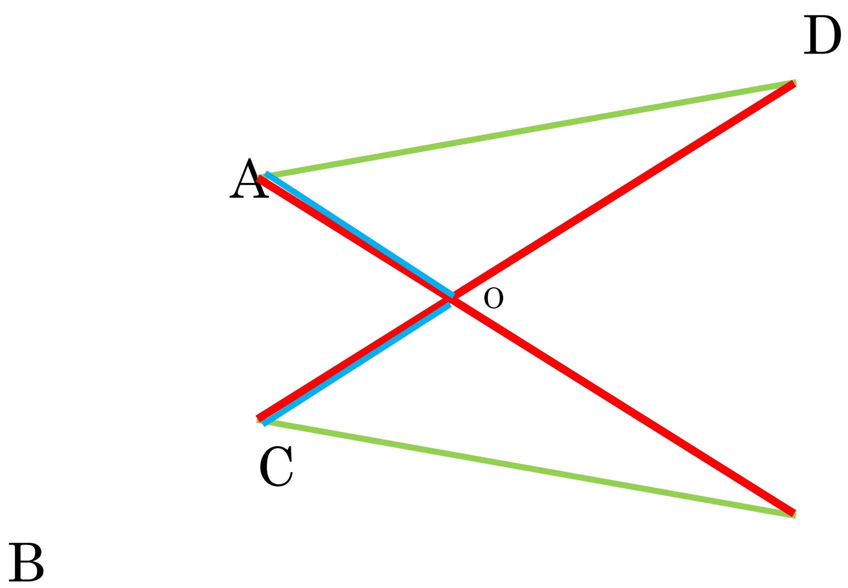
ア



ア

四角形ＡＢＣＤで,
ＡＢ＝ＣＢ,
ＡＤ＝ＣＤならば,
ＢＤ**は∠ABC を２等分する**

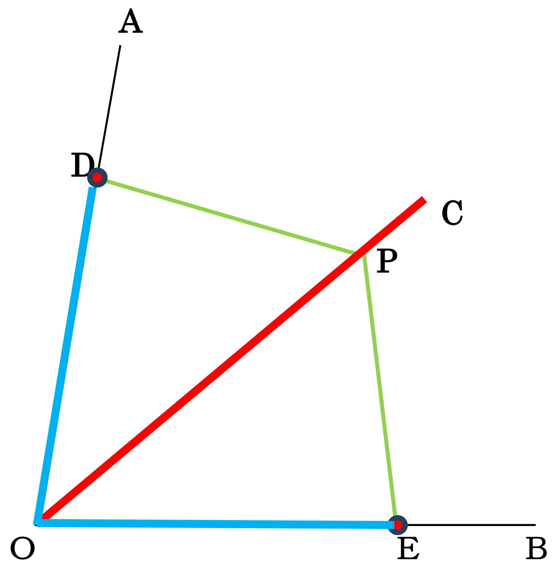
イ



イ

長さの等しい２つの線分
ＡＢ，ＣＤが
点Ｏで交わっていて,
ＡＯ＝ＣＯならば
AD＝ＣＢである.

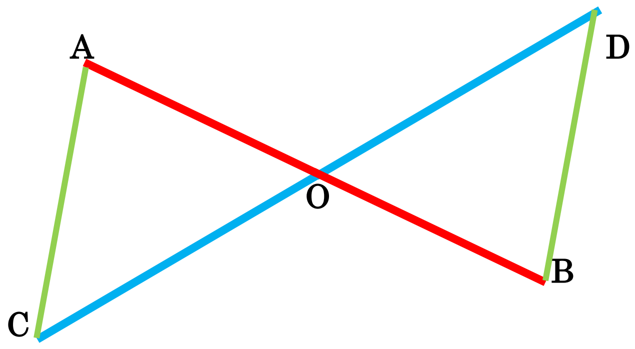
エ



エ

ＯＣが，∠ＡＯＢの**二等分線**で.
OD＝OE であるとき,
PD＝ＰＥ **である.**

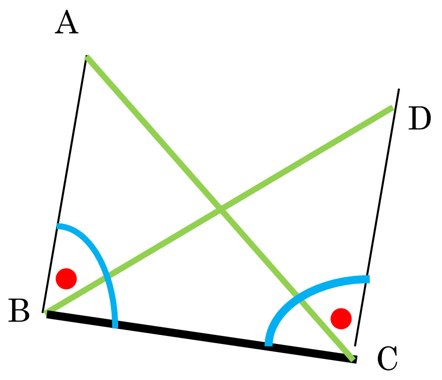
ウ



線分ＡＢ，CD が
中点Ｏで交わっている時,
ＡＣとＢＤ**は平行**である.

次の図形に、文章で示された内容を記号を使って図示しなさい.

カ



[カ]

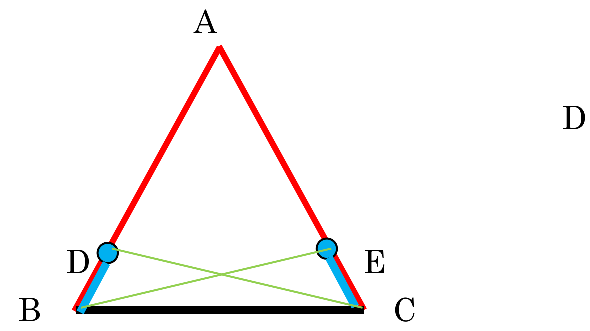
∠ＡＢＤ＝∠ＤＣＡ,

∠ＡＢＣ＝∠ＤＣＢ

ならば

ＡＣ＝BD である.

ケ



[ケ]

ＡＢ＝ＡＣである三角形の

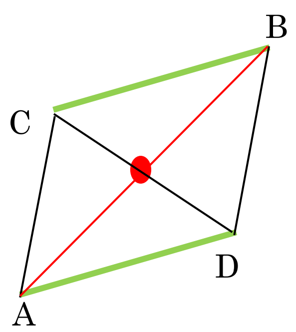
辺ＡＢ，ＡＣ上に点Ｄ，Ｅを

ＢＤ＝ＣＥとなるようにとれば

BE＝ＣＤである.

キ？

ク



[ク]

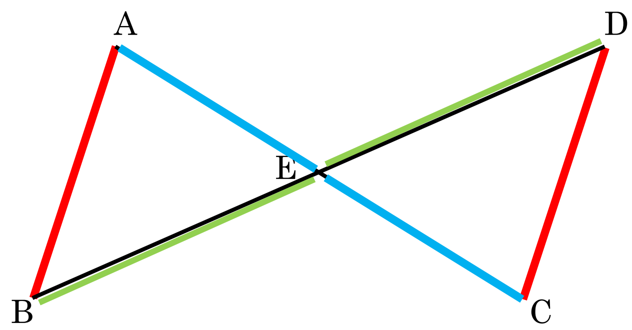
点Mは線分ＡＢの中点で,

∠Ａ＝∠Ｂ,

∠ＡMＣ＝∠ＢMDならば

ＡD＝ＢＣである,

オ



[オ]

ＡＢ　　ＣＤ,

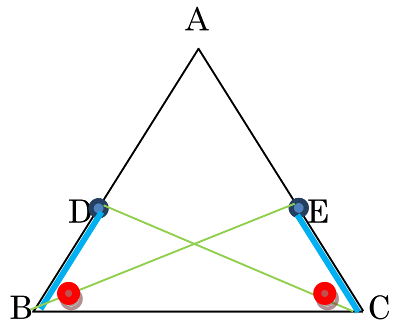
ＡＢ＝ＣＤであるとき.

交点Ｅは,

AC，BD の中点になる.

次の図形に、文章で示された内容を記号を使って図示しなさい.

サ



サ

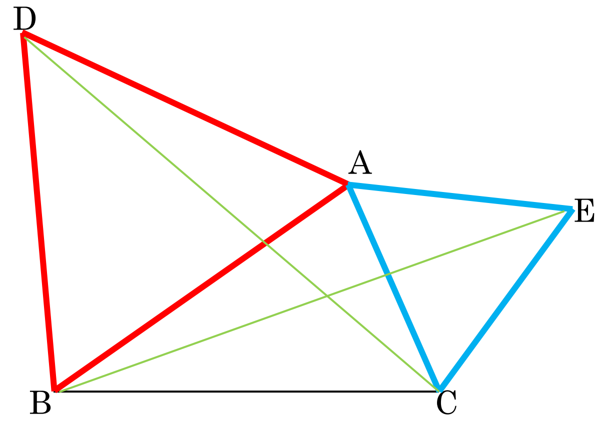
△ＡＢＣにおいて,

∠Ｂ＝∠Ｃ,

ＢＤ＝ＣＥならば

BE＝CDである.

ス



ス

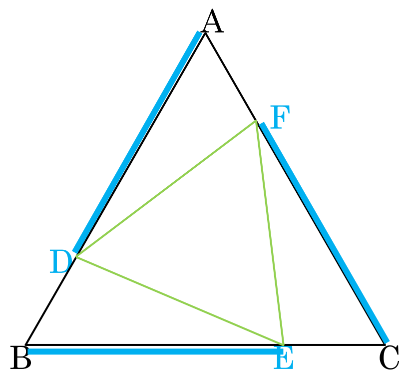
△ＡＢＣの辺ＡＢ，ＡＣを

それぞれ１辺とする

正三角形ＡＢＤ, ＡＣＥをつくると

BE＝DC である.

シ



シ

正三角形ＡＢＣの

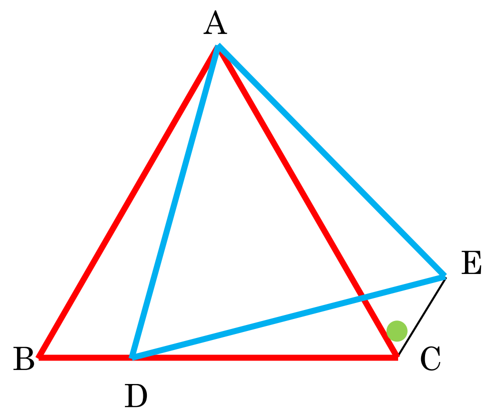
辺ＡＢ，ＢＣ，ＣＡ上に

ＡＤ＝ＢＥ＝ＣＦとなるような**点**

Ｄ，Ｅ，Ｆをとるとき,

△DEFは**正三角形**になる,

ソ



ソ

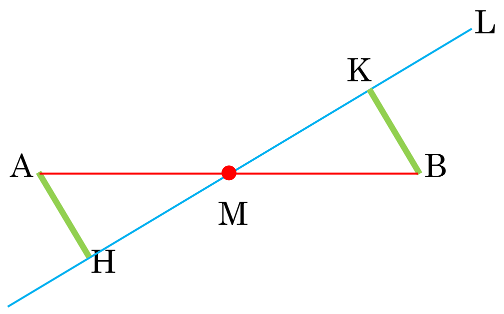
△ＡＢＣと△ＡＤＥが

共に**正三角形**であるとき,

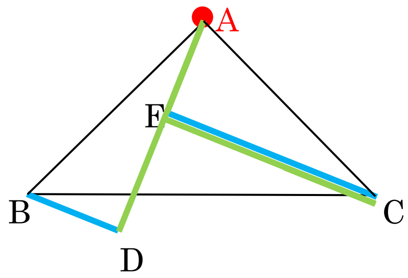
∠ＡＣＥが６０°である.

次の図形に、文章で示された内容を記号を使って図示しなさい．

タ



ツ



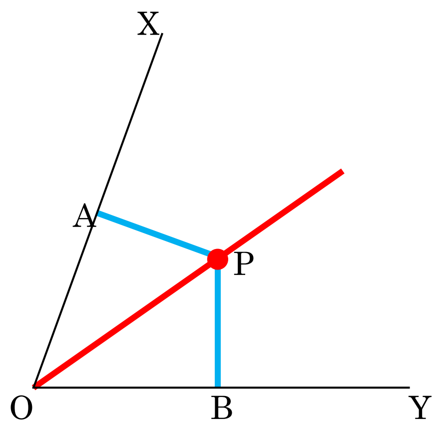
タ

線分ＡＢの
中点Ｍを通る直線をＬとし，
線分の両端Ａ，Ｂから直線Ｌに
それぞれ垂線 AH，BK を引くと，
AH＝BK である．

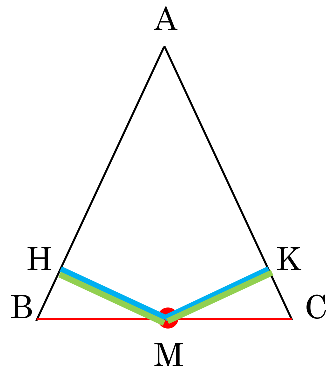
ツ

直角二等辺三角形 ABC の
直角の頂点Ａを通る直線Ｌに
B，C から垂線 BD，CE を引くと
AD＝CE である．

チ



テ



チ

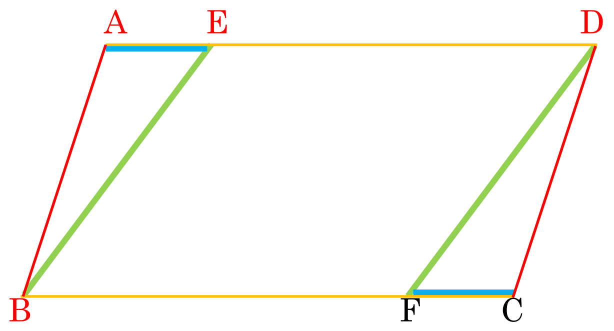
∠XOY の二等分線上の点Ｐから
２辺 OX，OY に下ろした垂線の足
をＡ，Ｂとするとき
PA＝PB である．

テ

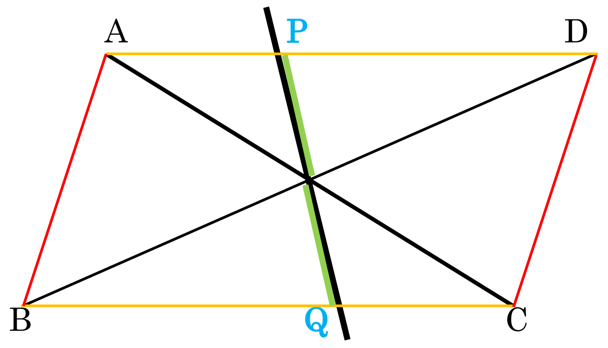
二等辺三角形 ABC の
辺 BC の中点Ｍから
辺 AB，AC に引いた垂線を
それぞれ MH，MK とする．
このとき，MH＝MK である．

次の図形に、文章で示された内容を記号を使って図示しなさい.

ナ



ヌ



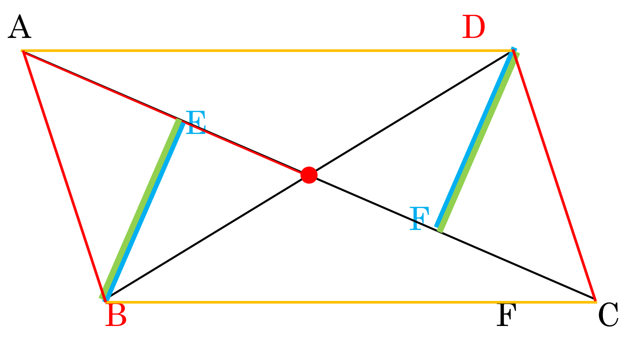
ナ

平行四辺形 ABCD において
辺 AD，BC 上に点 E，F を
AE＝CF となるようにとる.
このとき，BE＝DF
であることを証明せよ.

ヌ

平行四辺形 ABCD で. 対角線の
交点 O を通る直線をひき，
２辺 AD，BC との交点を
それぞれ P，Q とする.
このとき，OP＝OQ となる.

ニ

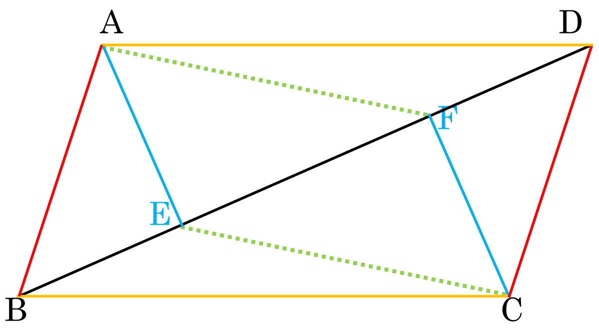


ニ

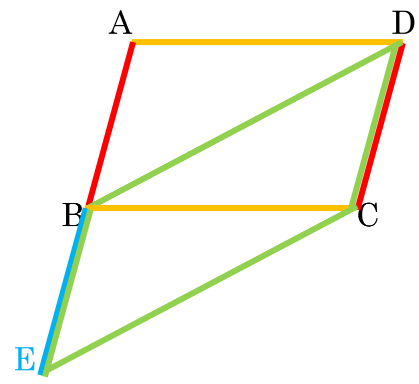
平行四辺形 ABCD の
頂点 B，D から
対角線 AC におろした垂線の足
をそれぞれ E，F とする.
このとき，BE＝DF である.

次の図形に、文章で示された内容を記号を使って図示しなさい．

ハ



フ



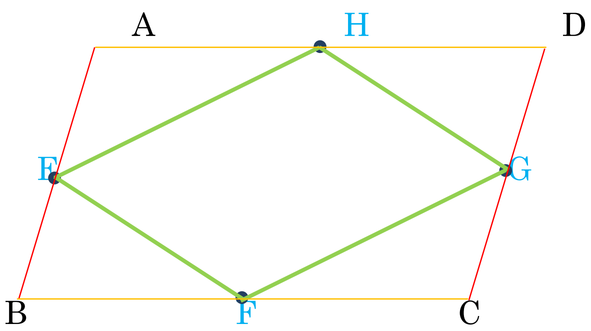
ハ

平行四辺形 ABCD の
頂点Ａ，Ｃから
対角線ＢＤに垂線をひき
ＢＤとの交点を
それぞれＥ，Ｆとする．
このとき，四角形ＡＥＣＦは平
行四辺形である

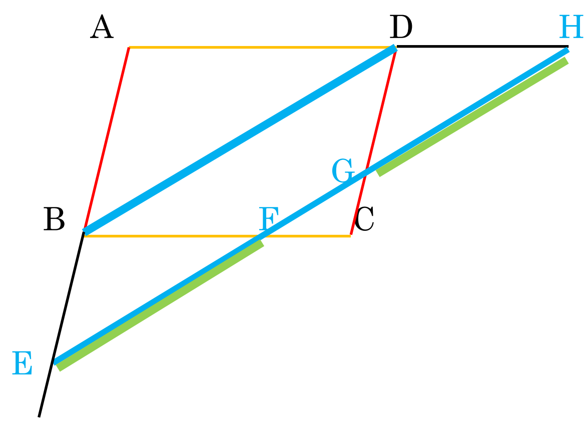
フ

平行四辺形 ABCD の
ＡＢの延長上に，
ＢＥ＝ＡＢとなる
点Ｅをとる．
このとき，四角形ＢＥＣＤは
平行四辺形である

ヒ



ヘ



ヒ

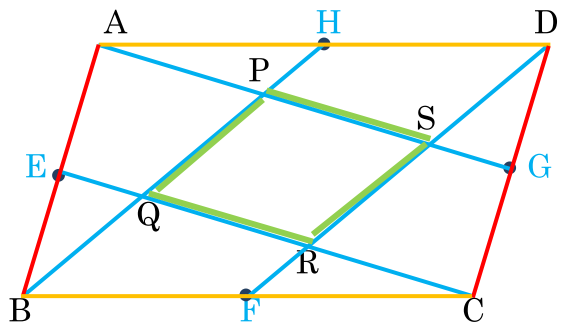
平行四辺形 ABCD で，
４辺ＡＢ，ＢＣ，ＣＤ，ＤＡ
の中点をそれぞれ
Ｅ，Ｆ，Ｇ，Ｈとする．
このとき，四角形ＥＦＧＨは
平行四辺形である．

ヘ

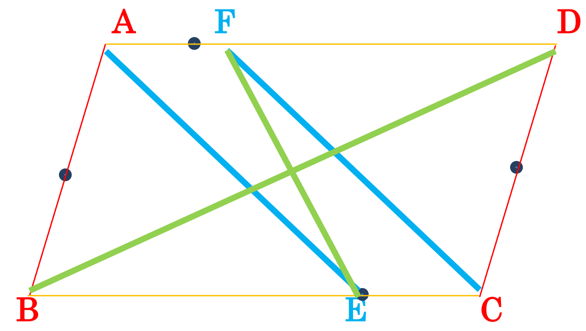
平行四辺形 ABCD の
対角線ＢＤに
平行な直線をひき，
辺や辺の延長との交点を
Ｅ，Ｆ，Ｇ，Ｈとする．
このとき，ＥＦ＝ＧＨである．

次の図形に、文章で示された内容を記号を使って図示しなさい．

マ



ム



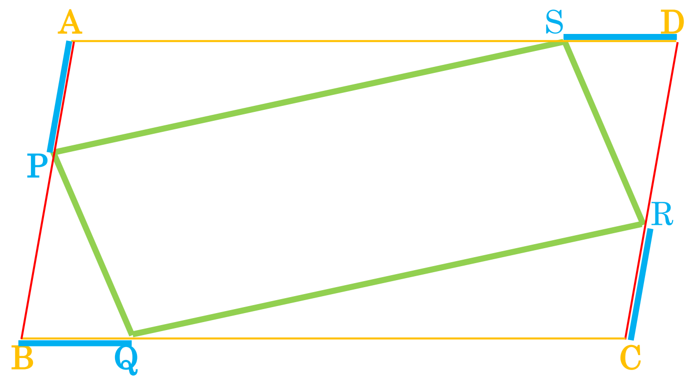
マ

平行四辺形 ABCD の
４辺の中点をＥ，Ｆ，Ｇ，Ｈと
する．このとき，
ＡＧ，ＢＨ，ＣＥ，ＤＦ
で囲まれた四角形ＰＱRＳは
平行四辺形である

ム

四角形 ABCD と
四角形 AECF は
どちらも平行四辺形である．
このとき，
ＥＦとＢＤは中点で交わる

ミ



メ

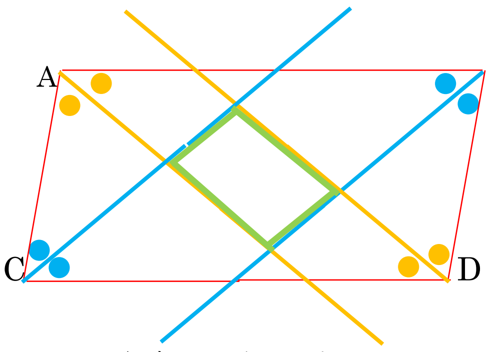
ミ

平行四辺形 ABCD の
辺ＡＢ，ＢＣ，ＣＤ，ＤＡ上に
点Ｐ，Ｑ，Ｒ，Ｓをとり，
ＡＰ＝ＢＱ＝ＣＲ＝ＤＳとする
このとき，四角形ＰＱＲＳは
平行四辺形である

メ

次の図形に、文章で示された内容を記号を使って図示しなさい.

ラ

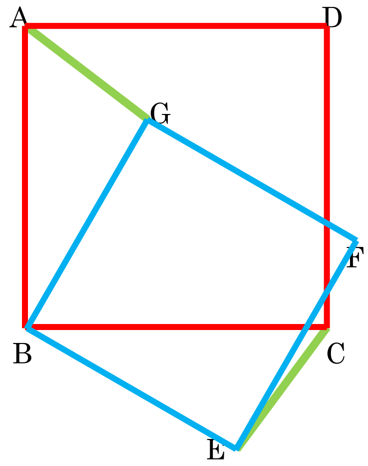


この図の角度は正確ではない

ラ

平行四辺形 ABCD の
４つの角の二等分線によって
囲まれて出来る四角形は
長方形である.

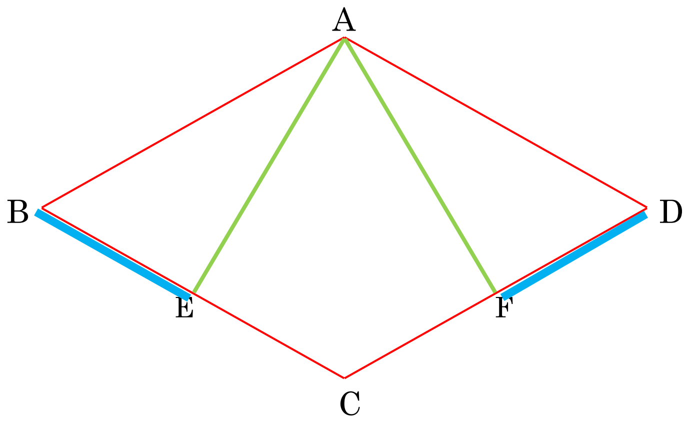
ル



ル

四角形 ABCD と
四角形ＢＥＦＧは
どちらも正方形である.
このとき，ＡＧ＝ＣＥである

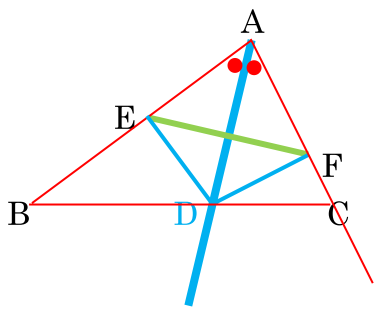
リ



リ

ひし形 ABCD において
辺ＢＣ，ＤＣ上に
ＢＥ＝ＤＦとなるように
点 E，Ｆをとる.
このとき，ＡＥ＝ＡＦである

ト



ト

三角形 ABC の
∠A の二等分線と
辺 BC の交点を D とし，
D から，辺 AB，AC にそれぞれ
垂線 DE:，DF を引くと
AD⊥EF